

肥後の三賢人を安置

三賢堂
さんけんどう

大正から昭和初期の政治家・安達謙蔵が熊本市民の精神修養の場として昭和11年（1936）に建立した円筒二重層の鉄筋コンクリート造りの堂宇で、遺言により同24年（1949）に熊本市に寄贈されました。堂内には肥後の三賢人として菊池武時、加藤清正、細川重賢の赤銅座像が安置されています。製作者は田島亀彦、朝倉文雄、長谷秀雄です。



叢桂园

地域の“よかところ”案内します

熊本城から西へ歩いて約30分、熊本市中心部からすぐ近くの城西校区（西区島崎・横手）は江戸時代から風光明媚な山紫水明の地として知られ、殿様のお茶屋や重臣の別荘などがありました。今でも金峰山からの湧き水9カ所が市の水遺産に指定され、釣耕園などが名所旧跡として残されています。この素晴らしい城西の“よかところ”を、城西校区まちづくり委員会観光ガイド部会がご案内いたします。

■西の武蔵塚探訪コース

5月
25日
日曜

午前10時、岳林寺集合。
コースは豊川稲荷～岳林寺～西の武蔵塚～霊樹院の墓～ジャン・マリーコール記念公園～髪塚

■横手史跡探訪コース

9月
28日
日曜

午前10時、熊本かがやきの森支援学校集合。
コースは千原観音像～千原お茶屋跡（右京家墓所）～遠矢塚～日向崎神社・石神八幡宮神社

■放牛石仏探訪コース

10月
26日
日曜

午前10時、熊本かがやきの森支援学校集合。
コースは放牛上人の墓～放牛地藏（33体）～放牛地藏（四方池公民館25体）～放牛地藏（四方池の池38体）～放牛地藏（産女の池73体）～放牛地藏（86体）

■水遺産名水百選コース

11月
23日
日曜

午前10時、釣耕園駐車場集合。
コースは長命水～叢桂园～釣耕園～少年の家跡地～延命水～三賢堂

■島崎名園・竹林コース

来年1月
25日
日曜

午前10時、釣耕園駐車場集合。
コースは三賢堂～釣耕園～叢桂园～叢桂园竹林～百梅園跡

■千原桜探訪コース

来年3月
29日
日曜

午前10時、城西小学校集合。（駐車場は熊本かがやきの森支援学校）
コースは城西小学校～西回りバイパス沿道～石神八幡宮神社～石神山公園～千原台高校

城西校区まちづくり委員会 観光ガイド部会

代表 小野 民彦 携帯 080-3182-0493



細川藩の文化を伝える

釣耕園
ちようこうえん

肥後細川3代藩主・細川綱利公がつくったお茶屋の一つ。家臣の続弾右衛門が拝領しました。細川家の中老で漢詩人の米田松洞（破門）が、その景観を「雲を耕し月を釣る」と詠んだことから「釣耕園」と名付けられました。庭園には4～5月上旬にかけてシャクナゲが花をつけます。



がくりんじ

岳林寺

1300 年ほど前の奈良時代（757 ～ 764）に律宗として創建。1581 年、戦国時代の武将で隈本城主の城親賢（じょうちかまさ）が曹洞宗として再興、江戸時代の 1674 年に現在地に移築されました。境内には「くまもと春の植木市」を始めた城親賢の墓があり、現在でも「春の植木市」前日に関係者が墓前祭を行っています。宮本武蔵の二天一流を継承した山東派の青木規矩男の墓もあります。

豊川稲荷神社

今から約 350 年前の江戸時代、肥後藩士・高田式弼正民が寺社奉行在職中、肥後 3 代藩主の細川綱利公が参勤交代の帰途、尾張の国に鎮座する豊川稲荷の分神を勧請し、岳林寺の境内に祀ったといわれています。



西の武蔵塚

剣豪・宮本武蔵の分骨を祀る墓碑。二天一流を継ぐ寺尾家墓地の一角には豊臣秀頼の娘とされる霊樹姫の墓があります。また、小道をはさんでカトリックの墓地もあります。墓地内には日露戦争で日本側の捕虜となり、帰国直前に自殺したロシア人将校の墓があります。



少年の家跡（西山閣）

貴族院議員を務めた古庄健次郎の別荘（西山閣）の跡地で、昭和 17 年（1942）に青少年健全育成の施設として熊本市に寄贈されました。現在はまちづくり委員会の主催で年 2 回、そーめん流しなどのプレイパークの場として活用しています。



そうけいえん

叢桂园

代々、医学者の家系で知られる村井家の別荘のあった所で、庭園は村井琴山が起工。村井蕉雪の代に完成したと伝えられます。

横手五郎

横手五郎は加藤清正が熊本城主だったころ横手に住んでいた力持ちの大男で、木山弾正の遺児といわれます。弾正は天草一揆のとき加藤清正に一騎打ちを挑んで戦死したため、五郎は清正を父の仇（かたき）として狙い、熊本城築城にあたり人夫として入り込みました。しかし素性を見破られ、井戸掘りをしているときに生き埋めにされたと伝えられます。

ほうぎゅう

放牛の墓と地藏

江戸時代、鍛冶屋町に大酒飲みの親と孝行息子が住んでいました。ある時、父親が酒を買って来いと息子に言いましたが、お金がありません。怒った父親が仕事の火吹き竹を投げつけたところ、通りかかった侍に当たり、無礼討ちにあってしまいました。息子は自分のせいで父親が殺されたと、仏門に入り修行して名前を放牛と改め、父親の菩提を弔うため 10 年間に 100 体の石仏（地藏）の建立を思い立ちました。100 体目は京町の往生院にあります。



石神山公園

面積 16ha。中央施設広場、野外ステージ、ドラックラン、ジョギングコース（611m）があります。小高い展望所からは熊本市内や阿蘇が一望できます。毎年夏には「サマーフェスティバル」が開催されます。

島田美術館

中世から近世にかけての武具や書画などが多数展示されています。特に宮本武蔵の遺作は日本一といわれ、武蔵の特設コーナーが設けられています。



石神八幡宮

亀山法王の御代、豊前宇佐八幡宮が飽田郡島崎郷を賜り、大宮司の到津公益（いとうづきみす）が移り住みました。その折、宇佐八幡宮前の小石を持参して島崎山の麓に小社を創建。石神宮と名付けて村の鎮守としました。

ひゃくばいえん

百梅園

細川藩士の学者、詩人で藩士中帰農者第 1 号として知られる兼坂止水が私塾「兼坂塾」を開き、数多くの梅の木を植えて百梅園と名付けました。毎年 2 月には「梅まつり」（写真）が開かれます。

